

公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長 アジア獣医師会連合 (FAVA) 会長就任祝賀会の開催

令和5年2月20日、東京都港区の明治記念館において、公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長
アジア獣医師会連合 (FAVA) 会長就任祝賀会が開催された。

祝賀会は第一部の式典・記念講演、第二部の祝宴の2部構成で行われた (写真1)。



写真1 式典の様子

式典と記念講演 (第一部)

2月20日 午後5時から、明治記念館「蓬莱」で式典
と記念講演が行われた。

まず、本祝賀会発起人の林 芳正外務大臣から、以下の挨拶が行われた (写真2)。

林 芳正 外務大臣挨拶

ご紹介をいただきました外務大臣の林 芳正でございます。

福岡ですすでにご本人にはお祝いを申し上げたところでございますが、藏内先生、改めましてこのアジア獣医師会連合 FAVA 会長就任、誠にめでたうございます。心よりお喜びを申し上げます。

もう10年ぐらい前になりますでしょうか。藏内先生から、このワンヘルスというものがいかに大事かというお話をいただきました。最初、私も浅学非才でございますからあまりピンと来なかったわけでございます。よくよくお聞きをしてみますと、いわゆる獣医師の皆様の世界、すなわち動物の世界と、そしてわれわれも広い意味では動物の一種であろうと思いますが、人間の世界、今

日は会長もお見えですが医師の皆様の世界、これがつながっていく。そして、そこをしっかりとみとれないとパンデミック等に対応ができなくなる。今なら、「なるほどな。」と誰もが思うと思います。しかし、10年前でございますから、コロナの「コ」の字もない頃からこの重要性について藏内会長が力説をされておられて、だんだんと私もなるほどそうかなと思うようになったわけでございます。その強い信念に基づいて、いろんな取組をされ、政府の閣議決定である骨太の方針にも、その大き



写真2 挨拶する林 芳正外務大臣

な方向性が示されるにいたり、政府をあげて取り組むような体制にやっとなってきたところでございます。惜しむらくはわれわれがもう少しシャープですぐ気がついて、いろいろな手を打っていたら、コロナの対応をさらによいものにできたのではないかと思います。この先見の明、長らくこの世界でご活躍いただき、そして政治の世界でも活躍をされた藏内会長ならではのことではないかと思っております。

今こそ、福岡を拠点としていろんなことが進んでいく中で、皆が一致協力をして、特に獣医師の皆様方と医師の皆様方がワンヘルスということで一つの塊になってしっかりと連携し、次にこういうことがあった場合、今回の経験も利用しながら、対応をスムーズに運べればと思います。この世界、藏内会長はいつもおっしゃっておられますけれども、未知のものが大変多いわけでございます。そうした未知のものにも、しっかりといろんな対応ができるように、これを国防の世界ではコンティンジェンシーといいます、いろんな場合を想定して準備をしておく、このことが非常に大事であります。そういったご功績で藏内会長がFAVAの会長になられて、ゆくゆくは世界の会長にも、私はなってもらわなければいけないと思います。こうして皆様とともに藏内会長のご就任をお祝いできることを、発起人の一人として大変うれしく思うとともに、たくさんの皆様へ今日は発起人、そしてご来賓、また一緒にお祝いをしていただくためにお集まりをいただきましたことを、厚くお礼を申し上げまして、冒頭のご挨拶にさせていただきますと思います。

本日は誠にありがとうございました。

続いて発起人の玉木康裕タマホーム(株)代表取締役会長から挨拶が行われた(写真3)。

玉木康裕 タマホーム(株)代表取締役会長挨拶

ただいまご紹介にあずかりましたタマホームの玉木でございます。

こんな高い席でご挨拶することは非常に光栄なことでございます。心より感謝申し上げます。

私が10年ぐらい前に、ワンヘルスの話を伺ったとき、「ワン」ヘルスだから犬の話かな。犬の健康の話を藏内会長は話しているのかなと今思い出しました。

林先生がおっしゃったように、まさかコロナによる、パンデミックが起こるといのが想像できなかったのです。藏内会長は「今までさまざまな感染症が流行しているよ、そのうちのひとつだ。」と常日頃おっしゃっておりますが、本当にびっくりしました。私も一昨年この病気にかかりまして、入院をいたしました。70歳以上は死亡率が高いということでございますので危ないところでした。



写真3 挨拶する玉木康裕タマホーム(株)代表取締役会長

もう40年も前、藏内会長が最初県議員に立候補されたとき、私は敵方に回って勝利したことがございました。そのとき、会長が「4年後はどうだ。」といわれるので、われわれ商人は明日のことしか考えておりませんので「4年後は何も考えてない。頼まれてもいない。」という、「では、4年後にお願いします。」といわれるので、すごい人だと思いました。まだ若いでしょう。そうしたら会長は九州新幹線のこととか、福岡県によそにないような美術館を建てたいという夢のような話をするのです。でも夢は大事ですよ。だからこれだけの大きな夢を持っている藏内会長を1度応援してみることにいたしました。会長とは中学、高校の先輩・後輩になります。会長のお姉さんが私と同級生です。実際に会長の行動力には目を見張るものがあり、本当に有言実行といえますか、どんどん政策を進められて、地元へ貢献されています。新幹線の駅もでき、隈研吾さんの設計による九州芸文館という芸術の殿堂もできました。今回の選挙では、会長には10回目の県議会議員の当選を果たしていただかないといけません。

今回、日本獣医師会会長からアジア獣医師会連合の会長になりました。先のことはわかりませんが、一人のファンとしては世界獣医師会の会長にもなっていたいて、そしてこのようなパンデミックをお医者様と一緒にあって世界規模で助けていただきたい。これからはますます活躍をしていただくことを祈念いたしまして、友人としての挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。

公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長
アジア獣医師会連合 (FAVA) 会長
就任祝賀会発起人 (順不同)

麻生太郎 衆議院議員 (自由民主党副総裁・獣医師問題議員連盟会長)

林 芳正 衆議院議員・外務大臣 (自由民主党獣医師問題議員連盟幹事)

森山 裕	公益社団法人 中央畜産会会長(衆議院議員)
横倉義武	公益社団法人 日本医師会名誉会長
玉木康裕	タマホーム株式会社代表取締役会長
砂原和文	公益社団法人 日本獣医師会副会長 (秋田県獣医師会会長)
村中志朗	公益社団法人 日本獣医師会副会長 (東京都獣医師会顧問)
境 政人	公益社団法人 日本獣医師会副会長兼専 務理事
北村直人	日本獣医師連盟委員長 (衆議院前議員)
小松泰史	日本獣医師連盟副委員長 (東京都獣医師連盟副委員長)
篠原公七	日本獣医師連盟副委員長 (香川県獣医師連盟委員長)
井上亮一	日本獣医師連盟幹事長 (横浜市獣医師連盟委員長)

次にご来賓からの挨拶が行われ、まず、野村哲郎農林水産大臣からのビデオメッセージが放映された(写真4)。

野村哲郎 農林水産大臣ビデオメッセージ

日本獣医師会 藏内勇夫会長のアジア獣医師会連合会長就任祝賀会に際しまして、一言ご挨拶を申し上げます。

藏内会長をはじめとして、獣医師会の皆様には、わが国、農業算出額の約4割、私の地元鹿児島県では3分の2を占める畜産業について、家畜診療や衛生管理、和牛の改良増殖、牛肉の輸出等にご協力をいただき感謝いたします。

特に今シーズンは、全国で過去に例のない猛威を振るっている鳥インフルエンザ対策に、藏内会長をはじめ、全国の獣医師の皆様にご尽力いただき、本当に頭の下がる思いです。

農林水産省としては、発生予防とまん延防止、被害を受けた養鶏農家の経営継続支援に加えて、家畜の遠隔診療や指導の推進等により、畜産振興と獣医師の皆様の省力化の両立に取り組んでまいります。

また、この場をお借りして、昨春からロシアのウクライナ侵略により、わが国へ避難された方の犬や猫の輸入検疫に係る診療等に、各地域の獣医師会にご支援いただき感謝申し上げます。

さて、藏内会長は、本祝賀会の発起人の一人であり、私の地元鹿児島県選出の森山先生が会長を務めておられる中央畜産会の常務理事や、福岡県畜産協会会長、福岡県馬術連盟会長などとして、畜産関係の要職を務めておられると承知しております。

このような中、藏内会長は、「ワンヘルス」という人と動物の病気や、周辺の環境保全是全て関連があるとい



写真4 挨拶する野村哲郎農林水産大臣

う考え方の下で、日本獣医師会会長として、また、国の獣医事審議会の委員として、諸問題の解決に貢献いただいております。深く敬意を表する次第であります。

このワンヘルスに関しましては、本祝賀会発起人の一人である横倉日本医師会名誉会長とともに、平成28年に「第2回世界獣医師会・世界医師会ワンヘルスに関する国際会議」を開催され、獣医師と医師の抗菌剤の責任ある使用についての協力強化などをうたった「福岡宣言」を締結されました。

昨年11月には、藏内会長は、わが国で「アジア獣医師会連合大会」を開催され、FAVAの会長に就任されました。この連合大会のテーマをワンヘルスと定め、最新の情報を関係者と共有し、ワンヘルスという考え方の普及・推進に努められました。すでに、ワンヘルスに関するFAVAの事務所を福岡に誘致されたとも伺っております。

藏内会長におかれましては、わが国ばかりでなく、23カ国・地域の会長としての今後のますますのご活躍を祈念いたしております。

結びに、藏内会長や、本日ご列席の皆様のみならず、ご健勝とご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

続いて西村明宏環境大臣から挨拶が行われた(写真5)。

西村明宏 環境大臣挨拶

皆様、こんにちは。ご紹介賜りました環境大臣、そして内閣府特命担当大臣を拝命しております西村明宏でございます。

今日は、藏内勇夫 日本獣医師会会長がFAVAの会長にご就任されたということで、本当にうれしく思い、駆けつけさせていただきました。藏内会長は皆様ご承知のように、自由民主党福岡県連会長や、そしてまた県議会議長を歴任された政界の大重鎮でございまして、私も今日来ている自見はなこさんと同じで福岡県出身でございます。高校まで福岡県におりましたので、先生のお名前、そしてまた藏内修治先生のご活躍というのは重々承



写真5 挨拶する西村明宏環境大臣

知しているところでございます。藏内先生が、これからも政治手腕を発揮していただき、日本獣医師会、そしてFAVAを牽引していただきますことを、心からご期待申し上げるところでございます。

今日、こちらに伺うので、環境省から非常に長文な祝辞を預かってまいりましたが、今、野村大臣からワンヘルスの話もございました。私を読み上げると長くなりますので省略させていただきます。ここで申し上げたいのは、環境行政として鳥獣の保護や管理、また野生の希少動物の保護、そういったさまざまな環境行政をやっておりますけれども、その中で獣医師の皆様方にお支えいただいておりますことを、心から感謝を申し上げたいと思っております。

藏内先生は日本大学の農獣医学部ご出身ということでございますが、私が長年仕えておりました三塚 博先生が、同じく日本大学の農獣医学部出身で、獣医師会の皆様のご活躍というのは三塚様の秘書としてずっと拝見させていただいております。これからも皆様のご活躍を願っております。

そして、昨日初めて愛玩動物看護師の国家試験が開催されました。4月には愛玩動物看護師が誕生することと思っておりますので、どうか、獣医師会の皆様方としっかり連携をしていただき、獣医療が今後ますます充実していかれますことを、心からご期待申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

続いて、加藤勝信厚生労働大臣からのメッセージが読み上げられた。

加藤勝信 厚生労働大臣メッセージ

このたびは、藏内日本獣医師会会長のアジア獣医師会連合会長就任に際しまして、心よりお祝いを申し上げます。

藏内会長におかれましては、平成25年に日本獣医師会会長に就任されて以来、人と動物の健康と、そして環境の保全を一体的に捉え、これらを守っていくというワンヘルス活動など、さまざまな公衆衛生の課題に対して

類いまれなるリーダーシップを発揮してこられたことに對し、この場をお借りして敬意を表する次第です。

昨年11月には、福岡で「第21回アジア獣医師会連合大会」が開催され、「アジアワンヘルス福岡宣言2022」が調印されたと伺っております。このような成果が生み出された過程では、藏内会長の多大なご貢献があったことは想像に難くありません。人獣共通感染症を含む新興感染症の脅威が高まる中、厚生労働省といたしましては、農林水産省をはじめとした関係省庁、また、貴会をはじめとした関係団体と連携し、人獣共通感染症対策や薬剤耐性菌対策に積極的に取り組んでまいります。

また、食品の安全対策の分野においても多くの獣医師が活躍されています。グローバル化がますます進む中、厚生労働省としても、引き続き輸入、輸出の両面において食品の安全確保に万全を期してまいります。

わが国、さらにはアジアにおける人獣共通感染症対策や食品安全対策をさらに推し進め、ひいては世界の公衆衛生の確保と向上を図っていくため、藏内会長がこれまでの豊かなご経験の中で培われたリーダーシップを、より一層発揮されることを願っております。

結びになりますが、藏内会長の今後ますますのご活躍を祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

最後に、松本吉郎(公社)日本医師会会長から挨拶が行われた(写真6)。

松本吉郎 日本医師会会長挨拶

ご紹介を賜りました日本医師会会長の松本吉郎と申します。

本日はお招きをいただきまして、ありがとうございます。

このたび、藏内勇夫会長のFAVA会長就任に当たりまして、日本医師会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃、藏内会長をはじめ、獣医師会の皆様には感染症予防や家畜の診療、それから食の安全、それから薬剤耐性対策など、多岐にわたってご尽力をいただいております。心から感謝申し上げたいと思っております。

日本獣医師会と、それから日本医師会の関係は以前から密接な関係にあります。それは一つには、当時、日本医師会の会長でこの後ご挨拶されると思っておりますけれども、現在名誉会長である横倉義武先生が日本医師会の会長時代の2013年に、藏内先生も獣医師会の会長に就任された。お二人とも福岡のご出身で非常に付き合いが長いこともあって、互いに協力をしてきました。2012年に世界獣医師会と世界医師会も動物由来感染症対策、食の安全といった内容について協定をするための覚書を交わしております。その日本版とも言える協定書を日本獣医師会と日本医師会との間で交わしました。学術協力の



写真6 挨拶する松本吉郎日本医師会会長

推進等を含めて、感染症対策、それから食の安全などを強化をするための協定書を結んでおりまして、それを全国展開しております。

医学の歴史は、本当に感染症との戦いであったといっても過言ではないと思います。日本獣医師会、世界獣医師会、それから藏内会長が就任されたFAVAにおきましても、こういったことを念頭においての防疫活動に当たっておられると思います。

今回、新型コロナウイルス感染症に対する防疫活動におきましても、これも日本獣医師会と日本医師会が非常に多くの協力をして当たってきたという経緯もございます。今後、新型コロナウイルス感染症だけではなく、さまざまな感染症、人獣共通感染症につきましては、その予防や感染防止のために、私ども人の医療と動物の医療と、両方からしっかりとアプローチしてまいりたいと思います。

今般、藏内会長が、会長に就任されたFAVAのさらなるご活躍とご発展によって、人と動物の健康と環境の改善がさらに一体的に捉えられて発展する中で、ワンヘルスの普及と実践が推進されることを切に願っております。日本医師会としても、医療と獣医療が一体となって、ワンワールド・ワンヘルス社会の構築に向けて取り組んで、新興あるいは再興感染症の流行等の局面においても、引き続き獣医師会としっかりと連携を密にして、さまざまな課題に取り組んでまいりたいと思っております。

本日、ここにお集まりの皆様方とともに、藏内会長のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

続いて、ご来場いただいた来賓の方々が紹介された。

式典と記念講演にご臨席いただいた来賓の方々
国会議員

山際大志郎 衆議院議員

藤丸 敏 衆議院議員
古川俊治 参議院議員
三原じゅん子 参議院議員
自見はなこ 参議院議員
河野義博 参議院議員
中田 宏 参議院議員

農林水産省

野村哲郎 農林水産大臣
森 健 消費・安全局長
熊谷法夫 大臣官房審議官（兼消費・安全局兼輸出・国際局）
伏見啓二 大臣官房審議官（兼畜産局）
道野英司 大臣官房国際食料情報特別分析官（兼輸出・国際局）
郷 達也 消費・安全局畜産安全管理課長
吉田和弘 消費・安全局畜産安全管理課畜産安全情報分析官
丹菊直子 大臣官房新事業・食品産業部食品流通課卸売市場室長

環境省

西村明宏 環境大臣
小林祐紀 環境大臣秘書官
奥田直久 自然環境局長
野村 環 自然環境局総務課動物愛護管理室長

厚生労働省

加藤勝信 厚生労働大臣
今川正紀 健康局結核感染症課感染症情報管理室長

内閣府

鋤柄卓夫 食品安全委員会事務局長
前間 聡 食品安全委員会事務局評価第二課長

祝電披露では、菅 義偉前内閣総理大臣からの祝電が披露され、斎藤鉄夫国土交通大臣、永岡桂子文部科学大臣をはじめ多数の方々から祝電をいただいた旨報告された。

その後記念講演に移り、日本獣医師会の顧問でもある酒井健夫日本大学学長から「ワンヘルスに取り組む藏内勇夫会長」と題して、これまでの藏内会長のワンヘルスへの取組の経過が紹介され、藏内会長はその取組が評価されてFAVA会長に就任し、FAVA会長として、また日本獣医師会会長として、ワンヘルスの理念の普及と実践を最優先課題として活動していることなどについて記念講演が行われた（写真7）。

そのあと、発起人の横倉義武（公社）日本医師会名誉会長から挨拶が行われた（写真8）。



写真7 記念講演する酒井健夫日本大学学長・日本獣医師会顧問



写真8 挨拶する横倉義武日本医師会名誉会長

横倉義武 日本医師会名誉会長挨拶

皆さん、こんばんは。今日は藏内勇夫 日本獣医師会会長のアジア獣医師会連合会長就任のお祝いということで、本当に多くの皆さんが全国からお集まりいただいていることに対して心からお祝いを申し上げたいと思います。

思い返しますと、2013年11月に、この会場で日本獣医師会の総会があったかと思います。そのときに藏内会長から学術協定を結ぼうという話がありました。実は二人とも福岡県の南部の筑後地方という、いわゆる農村地帯ですが、その農村の田舎から、日本全国を代表する団体の会長に二人がなるというのは、多分二度とないだろうということで、何か二人でやらんかという話になりました。その前の年に、世界医師会と世界獣医師会が覚書を結んでおりました。その内容は学術協定を結んでワンヘルスを進めていこうということでありました。それをぜひ日本でも頑張ろうではないかということになりました。そしてこの明治記念館で調印式を行い、協定を結ばせていただきました。その後、獣医師会の先生方が全国で大変に働きかけを医師会のほうにもしていただきまして、全国の47都道府県の医師会と獣医師会で協定が結ばれて、現在にいたっています。

ご案内のとおり、このワンヘルスという概念は、今後の地球環境を守っていくうえで大変重要でありますし、また、人間の生存を守っていくためにも、動物の生存を守っていくためにも非常に重要な概念だと思います。どちらかというとな獣医師会の皆さんのほうが一生懸命先行していただいて、医師会のほうは後ろから後をついていかせていただいているということが多いのですが、いわゆる耐性菌の問題、これはやはり医学のほうでもしっかり取組を強めていかなければなりませんので、一緒になってまた頑張っていきたいと思っております。

今日は日本医師会の松本会長がお見えいただいております。日本医師会としてもしっかり頑張っていただくものと思っておりますので、どうぞよろしくお願いして、お祝いの言葉とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

最後に藏内会長から謝辞が述べられて、第一部の式典は閉会された(写真9)。

藏内勇夫 日本獣医師会会長、FAVA 会長謝辞

今日は、大変お忙しい中に、私のFAVA会長就任祝賀会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。日本大学獣医学科の恩師であります酒井先生にいわせると、私の出版記念パーティーだそうでございますけれども、重ねてよろしくお祈りを申し上げたいと思っております。

まず、今日ご挨拶をいただきました林外務大臣、そして横倉日本医師会名誉会長、玉木タマホームオーナー、そしてまた麻生太郎獣医師問題議員連盟会長をはじめとする発起人の方々に、心から感謝を申し上げます。ご来賓として、野村農林水産大臣、西村環境大臣、加藤厚生労働大臣、松本吉郎日本医師会会長からは身にあまるご祝辞をいただきまして、本当にありがとうございました。

また、今日お越しの河野先生には、中央畜産会や日本獣医師会によく足を運んでいただき、勉強していただいて、本当にありがとうございました。そして、中田先生には、この間、福岡までワンヘルスの視察をいただきました。何よりうちの衆議院議員、藤丸敏代議員も駆けつけてくれました。実は横倉会長は藤丸代議士の後援会長、私は元選対本部長でございまして、そんなに田舎じゃないんですけど、福岡でいうとどちらかというとな田舎でしょうか。先日、フィリピンのマルコス大統領がお見えになりました。そのときに、藤丸代議士から、「会長、ぜひ会わんといかんですよ。」というので、何かと思ったら、フィリピンへ行ってマルコス大統領といろいろ話をしたときに、私の名前も出たようでございます。うまく会うことができまして、実はフィリピンの獣医師会がマルコス大統領に会う機会があったら、ぜひ大統領に

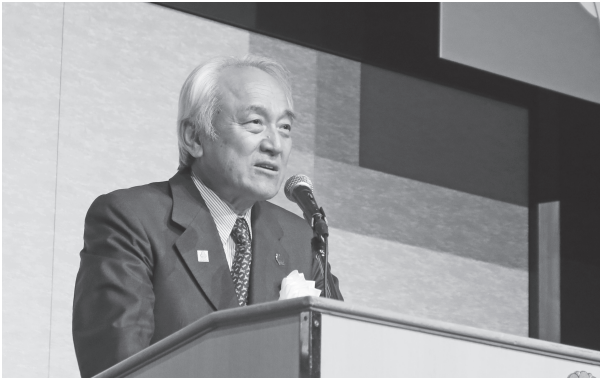


写真9 謝辞を述べる藏内勇夫日本獣医師会会長、FAVA 会長

ワンヘルスについて私から話してほしいという依頼がありましたので、本当にグッドタイミングでございました。代議士、本当にありがとうございました。

このワンヘルスという言葉が、私がこのFAVAの会長に就任した大きな要因でございます。FAVAというのは、Federation of Asian Veterinary Associationsと呼んで、アジア・オセアニア23カ国、アメリカも含めて40万人の獣医師を擁する会でございます、大変光栄なことだと思っております。

今から10年前に、私が日本獣医師会の会長に就任したときに、麻生太郎先生がこんなことをおっしゃってありました。日本医師会のリーダーと、日本獣医師会のリーダーが福岡の田舎から同時に出るということはないだろう、これは天の配剤である、こういうことをおっしゃっていただきました。その後、横倉会長のお誘いで二人で酒を飲んでおりますときに、田舎から出た二人だから、何かやろうかという話になりまして、二人ともこれはやっぱり今はもうワンヘルスですねということで、ワンヘルスの普及をやろうとしたわけです。でもそのときはまさかコロナが来るとは思っておりませんでした。そろそろスペイン風邪が変異して、新しいウイルスが人間を襲ってくるだろう。だからその備えをしなければならない。このワンヘルスというのは特効薬じゃないんですね。こういった感染症に対する備え、先ほど酒井学長から講演をいただきましたように、「その備えをするために立ち上がろう。」ということでスタートしたわけでございます。

2015年に、横倉会長とスペインのマドリード、第1回のワンヘルス国際会議に出まして、横倉会長は流暢な英語で講演されました。私は筑後弁でやっておりましたら、どっちがよかったのか分かりませんが、高い評価を受けたのは事実であります。世界医師会、世界獣医師会から「第2回の会議を、ぜひ日本で開催してほしい。」というオファーがありまして、横倉会長に相談をし、北九州で2016年に開催することができました。その後、

昨年秋、FAVAの大会を日本で開催することとなり、そこで会長に就任をすることができたわけでございます。

国会でも、福岡県選出の松山政司参議院議員、それから大家敏志参議院議員がそれぞれ代表質問でワンヘルスを取り上げてくれまして、岸田総理もこの福岡県の方式を高く評価いただいて、自分たちも推進をする。あるいは今度のG7サミットで、ぜひこのワンヘルスも取り上げたい。また、自見はなこ先生は予算委員会で危機管理センターを早急に設置するべきだと主張されました。今、総理から指示が出、その構想が実現しつつございます。彼女はこども家庭庁を中心的にやっている国会議員でございます、私がハワイに滞在中、横倉会長と一緒にハワイ大学医学部に行っているときに電話をかけてきました。「会長、今、日本獣医師会の学校動物飼育の先生方と論議しています。」とのこと。「どうしてだ。」といったら、「こども家庭庁で、この子どもの教育に動物は情操教育を含め、非常に大きな役割を果たすと思っているので、ぜひこの中に取り入れたい。」ということで頑張っていております。そういう意味で、国会議員の先生方には本当に感謝をいたしておるところでございます。「今後、ワンヘルス議連を立ち上げていただく。」そういう話も聞いておりますので、河野先生、ぜひ公明党も応援してください。期待しておりますから、立ち上げてください。

それから、私はアジア獣医師会連合の会長になって、やはり世界にワンヘルスをもっと広げたいと思っております。先日のFAVA大会のときに、世界医師会の会長と世界獣医師会の会長が、「自分たちがワンヘルスを高らかに叫んでも具体的なにならないのに、どうして日本、福岡ではこんなにセンターを設置する。学校教育に取り入れる。あるいは条例をつくる。それほど進むんだ。」という話がありました。「それはやはり政治と行政が動かないと駄目なんですよ。」という話をいたしましたら、「ぜひその話を世界中に広めてほしい。」といただきました。

それからつい先般でございますが、林外務大臣のところにビル・ゲイツさんがお見えになって、2015年に奥様とビル・ゲイツさんとが500億ドルずつ出して1,000億ドルの基金をもって、感染症対策の財団を設立されました。特に私が感心したのは、「ウイルスのパンデミックをなくすには、貧富の格差をなくさなければならない。」とおっしゃっていたことです。確かにそうだと思うんです。酒井学長もおっしゃいました。いわゆる発展途上国は公衆衛生の観念がないんです。ここでウイルスが発生、まん延するわけであります。ウイルスは、昔は40日ぐらいかかって、世界一周していましたが、今では2日で回るんですから、やはりここをしっかりとやっていかなければなりません。

林大臣がビル・ゲイツさんに、「いや、あなたがおっしゃっているのと同様に、私の友人の福岡の獣医師がワンヘルスという運動をやっていますよ」と、そういう話をされた。そこだけをメモされたということですから、大臣にぜひ、今度ビル・ゲイツさんにお会いしたいとお伝えいただくようお願いをしたら、大臣、伝えていただいているようであります。というのは、ビル・ゲイツさんは2015年にそういう財団を立ち上げたという新聞に出ていました。しかし、われわれ福岡県では、今日、自民党の松尾幹事長、それから県議団の中尾幹事長、そして前議長でワンヘルス特別委員長の秋田県議会議員、彼はドクターでございまして、今日も出席していただいておりますが、2014年にわれわれはこういった感染症対策をすべきという提案を知事に行い、九州知事会で取り上げていただいているわけです。ビル・ゲイツさんより1年早く福岡県はやったということをご伝えたのです。また、ビル・ゲイツさんの財団というと、何となく金銭を求めているように思われるのが僕は嫌なんです。あそこではいい研究をされています。いい発表をした国際的な学者がおられますので、われわれ日本獣医師会と日本医師会が実施しているシンポジウムに、ぜひ講師としておいでいただきたい。そうすると日本のワンヘルス運動はビル・ゲイツと一緒にやっているとということになると思いますので、これは何とか達成をしたいと思っております。

時間もそろそろ来たようでございますので、今後とも皆さん方にご支援とご協力をいただき、しっかりとこのワンヘルスを世界に広め、世界中の健康を守っていきたいと思っておりますので、よろしくまたご支援を賜りますように、心からお願いを申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

祝 宴 (第二部)

午後6時45分から、会場を明治記念館「富士」に移し、祝宴が開催された。

まず、本祝賀会発起人の麻生太郎自由民主党副総裁、獣医師問題議員連盟会長から、以下の挨拶が行われた(写真10)。

麻生太郎 自由民主党副総裁 獣医師問題議員連盟会長挨拶
麻生太郎です。

自由民主党獣医師問題議員連盟の会長を務めさせていただいておりますので、今日のこの話に関連をするんですが、ご存じのように昨年の11月に藏内会長は、いわゆるアジア獣医師会連合、通称FAVAというんですけども、この会長に福岡で開かれた大会で選任をされておられます。



写真10 挨拶する麻生太郎自由民主党副総裁、獣医師問題議員連盟会長

藏内さんが県会議員、そして日本獣医師連盟、そして獣医師会、そして今度のFAVA等々、いろいろな場で活躍しておられるのは誠に皆様方とともに喜ばしいことだと思っております。この機会に皆様と一緒に楽しく分かち合いたいという趣旨で皆様方にご案内をさせていただいたところ、各界から大勢の方にお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。九州から足を運んでいただいた方々もお見えのようですけれども、心から厚くお礼を申し上げます。

藏内会長、10年になりますかね。いわゆる、ワンヘルスという運動が始まったのはこの頃なんだと記憶しています。その頃、動物と人間、環境や衛生、そういったものを整理して、動物由来の感染症にもしっかり対応しておかないと大変なことになるという話を聞いたとき、ピンとこられた方はほとんどなかったんだと記憶します。

ところが3年前、ご存じのようにコロナウイルスの感染が拡大し、横倉先生から「今後3年は続くぞ。」といわれた記憶はありますけれども、その頃から徐々にこのワンヘルスなんていう話が少しずつ具体化してきたものですから、先見の明があったんだなと思っております。藏内さんの政治的な手腕というのは、これは誰しも認めるところだと思いますが、少なくとも県議会議員になってから、「Ph.D. 博士号を持っておかなければ。」と思いつく人は世の中にいっぱいいるだろうけれども、「九州大学に行って学位を取る。」といったときには冗談いうなど正直思いました。その後、ちゃんと学位を取っておられますので、そういった意味ではきちんとしたことをやるんだなと思えました。藏内もたまにはまともなこともやるんだと思って、僕は正直あのときに一番驚いたのを今でも記憶にあるところであります。

いずれにしても、政治家だけじゃなくて、いわゆる学者とか、そういった実際の仕事をやるということも偉いんだと思います。いずれにしても今後、アジアとかオセアニアとかさらに広い地域でワンヘルスに関する問題は起きてくる可能性が高く、そういった分野でアニメ

ル・ウェルフェアに関しましても、いろいろな意味で彼の持っている知識、卓見、経験というものが活かされていくことを心から期待するものであります。

少なくとも、これからさらに海外で活躍するにあたり、英会話のレベルはいま一つだと思っておりますので、これは目下練習をしておられる様子なので、いいことだと思っておりますが、筑後弁以外にも英会話のレベルも上げられるということを期待し、それによってさらなる活躍を心から期待しておるということを最後に申し添え、皆さんとともに今回の FAVA の会長就任を心からお祝いをしたいと思って、今日のご案内させていただきました。

よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございます。

続いて同じく本祝賀会発起人の森山 裕(公社)中央畜産会会長、衆議院議員から以下の挨拶が行われた(写真 11)。

森山 裕 (公社)中央畜産会会長、衆議院議員挨拶

皆様、こんばんは。(公社)中央畜産会の会長を務めております衆議院議員の森山 裕です。今日は、藏内会長のアジア獣医師連合会、FAVA の会長就任の祝賀会が盛大に開催されますことを、まず心からお喜びを申し上げる次第であります。

藏内会長をはじめ、獣医師の皆様には日頃から畜産の振興をサポートしていただき、大変感謝をしております。藏内会長におかれましては、(公社)中央畜産会の常務理事としてもご活躍をいただいております。私も日頃からご指導をいただいているところであります。

昨年、私の地元の鹿児島県におきまして、第 12 回全国和牛能力共進会が開催されました。藏内会長にもご臨席をいただいたところであります。本共進会におきまして、鹿児島県が輝かしい成績を頂戴できましたのも、獣医師の皆様が家畜の改良増殖や日々の衛生管理など、ご指導をいただいている賜物だと考えております。

また、特に今シーズンは全国で過去に例のない猛威を振るう鳥インフルエンザ対策にも、皆様方、全国の獣医師の皆様に変なご協力をいただいておりますことにも感謝を申し上げているところであります。

中央畜産会といたしましても、防疫関連資材の備蓄教室や臨床獣医師の皆様への衛生に関する研修など、わが国畜産における衛生対策に積極的に取り組んでいるところであり、引き続き最大限の対策を農林水産省とともに実施をしまいたいと考えております。

藏内会長におかれましては、福岡県議会議長の経験をされましたし、幅広い分野で活躍をされる中、福岡県の畜産協会の会長、福岡県馬術連盟会長等の要職も務めていただき、畜産関係の各界でもご活躍をいただいているところであります。



写真 11 挨拶する森山 裕衆議院議員・中央畜産会会長

このような中、獣医師として諸問題の解決にご活躍をされる中、ワンヘルスという人と動物の病気や周辺環境保全には全て関連があるという考え方の中で、一貫した考えの中、ご対応をされていると承知をしております。

たとえば、本祝賀会発起人の一人であります、横倉日本医師会名誉会長とともに、平成 28 年の第 2 回世界獣医師会—世界医師会“ワンヘルス”に関する国際会議で、獣医師と医師の協力を強化するなどのため福岡宣言を締結されました。そのうえで、藏内会長は昨年 11 月にわが国でアジア獣医師会連合大会を開催され、その FAVA の会長に就任をされるとともに、ワンヘルスに関する最新の動向を共有され、関係者の育成にも貢献をされているところであります。

福岡県では、ワンヘルスに関する冊子を作成され、県内の学校で授業を実施されたり、福岡市の大濠公園の近くにワンヘルスパークを開設され、ホースセラピーの実施などにより人材育成にも努めておられます。

私の地元鹿児島県の鹿児島大学でも、本祝賀会の発起人である林 芳正外務大臣の地元、山口県の山口大学と共同獣医学部を設置して、まさに薩長連合で運営しております。ここでは、アジア初となる欧州国際水準の獣医師養成教育機関として認定を受けるとともに、現在では、宮崎県境にあります曾於市の旧財部高校跡地に南九州畜産獣医学部拠点の整備をして、地域の人材育成の強化などを目指しているところであります。

人への投資は岸田内閣の主要政策の一つでもあり、中央畜産会においても畜産コンサルタントをはじめ、農場の HACCP、畜産 GAP などの人材育成に努めているところでありますが、何事も大事を収めるには人が大切であります。かつての明治維新のように九州、山口、ひいてはわが国一体となって人材が育成されていくことで、藏内会長がわが国ばかりでなく 23 カ国・地域の会長としての今後のますますのご活躍を強く期待をしているところであります。

結びに、藏内会長や本日ご列席の皆様のみならずのご健勝、ご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



写真 12 挨拶する西村康稔経済産業大臣

きます。ありがとうございました。

次にご来賓からの挨拶に移り、まず、西村康稔経済産業大臣から挨拶が行われた（写真 12）。

西村康稔 経済産業大臣挨拶

皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました経済産業大臣を拝命しております西村康稔でございます。藏内会長、おめでとうございます。アジア獣医師会連合の会長ご就任ということで、心からお祝い申し上げたいと思います。

私は、特にコロナ担当大臣をしておりましたときに、感染症のことは何も知らなかったわけでありましたので、本当、節目節目で藏内会長にいろんなことを教えていただきました。特に、ワンヘルスということを提唱されて、「農水省と厚労省と分かれているのでなかなかうまくいかない、内閣官房の私のところでうまく束ねられないか。」というお話もいただいて、進めようとしたんですけども、なかなかうまくいかない部分もあります。今は経済産業省の立場でちょっと離れたけれども、ワクチンの開発や製造、あるいはさまざまなバイオの関係の支援を行っておりますので、引き続き私の立場からもワンヘルスを目指して取り組んでいきたいというふうに思います。当時、コロナの専門家からいろいろ伺っていて、いろんな意見があるようですけども、「普通は、ウイルス自身が生き延びるために（宿主が死んでしまうとウイルスも生き延びられないので）病原性はどんどん弱くなるはずだけれども、動物にうつると動物の中で生き延びればいいので、人間に対しては病原性が高いままで重症度が高いままになる可能性がある。」というようなこともお聞きをしていたわけでありました。そういった観点からも、やっぱり動物と人間とワンヘルスで考えていかなきゃいけないということだと思います。

素人が専門家のようにいっていますけれども、藏内会長には、引き続きアジア全体、世界をリードしていただ



写真 13 挨拶する古屋範子公明党副代表、獣医師・動物看護師議員懇話会会長

き、さらにはワンヘルスを実現に向けて一緒に取り組んでいければと思いますので、引き続きご指導、ご支援、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

続いて、古屋範子公明党副代表、獣医師・動物看護師議員懇話会会長、衆議院議員から挨拶が行われた（写真 13）。

古屋範子 公明党副代表、獣医師・動物看護師議員懇話会会長挨拶

皆様、こんばんは。公明党副代表をしております、衆議院議員の古屋範子でございます。

（公社）日本獣医師会会長でいらっしゃる藏内会長が、アジア獣医師会連合の会長にご就任をされました。心からお祝いを申し上げたいと思います。政権与党としても、これからさらに応援をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

人と動物の健康、環境の保全を一つに捉えるワンヘルスの活動を福岡から普及してこられました藏内会長をはじめ、希少野生動物の保護や動物愛護管理等、獣医師会の発展に尽力をされてこられました日本獣医師会の皆様に、厚くお礼を申し上げたいと思います。

藏内会長のアジア獣医師会連合会長のご就任は、食の安全や人と動物の共通感染症など、国民に大きな関心が集まる中、藏内会長がその期待に応えられていく、そのような獣医師、獣医師会を育てていこうという、これまでのご尽力されてきたことが大きく評価された賜物だというふうに思います。

私たちは3年間にわたり新型コロナウイルス感染症に苦しめられてまいりましたけれども、このような人獣共通感染症に対処していくためにも、ワンヘルスの推進は重要であります。藏内会長の強力なリーダーシップで、アジア、また、世界における感染症対策をはじめとするワンヘルスの実践活動をリードされることを大いに期

待をしております。

今後も獣医師会の皆様のご意見を賜りながら、人と動物が共生できる社会の実現に向けて、引き続き努力を重ねてまいりますので、なお一層のご指導、ご支援、よろしくお願い申し上げます。

結びに、藏内会長のさらなるご活躍、また、日本獣医師会のご発展、本日お集まりの皆様のご健勝をご祈念いたしまして一言お祝いのご挨拶とさせていただきます。大変におめでとうございました。

続いて、ご来場いただいた来賓の方々が紹介された。

国会議員

逢沢一郎	衆議院議員
森 英介	衆議院議員
山口俊一	衆議院議員
塩谷 立	衆議院議員
岩屋 毅	衆議院議員
金子恭之	衆議院議員
井上貴博	衆議院議員
鬼木 誠	衆議院議員
神田憲次	衆議院議員
佐藤英道	衆議院議員
藤丸 敏	衆議院議員
武見敬三	参議院議員
松山政司	参議院議員
大家敏志	参議院議員
三宅伸吾	参議院議員
新妻秀規	参議院議員
中田 宏	参議院議員

厚生労働省

今川正紀	健康局 結核感染症課 感染症情報管理室長
------	----------------------

続いて乾杯に移り、発声は森 英介自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行、衆議院議員から行われた(写真14)。

森 英介 自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行、衆議院議員挨拶(乾杯発声)

まずは藏内勇夫会長、このたびのFAVA会長ご就任、おめでとうございました。また、日本獣医師会の先生方にも心からお喜びを申し上げます。藏内会長は、ご存じのとおり、先ほど麻生会長からご紹介ありましたとおり、本当に随分早くからワンヘルスの推進を大変力強く主導をされております。3年前から新型コロナウイルス



写真14 森 英介自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行、衆議院議員

感染症により世界が大変な脅威に見舞われたわけですが、動物由来の、おそらく新型コロナウイルスの感染症も動物由来の人獣共通感染症だというふうに思いますが、感染症がこんなに、言わば自然の大災害と匹敵するぐらい人類にとって大きなリスクがあるということを初めて実体験したわけでありました。そういう意味で、ワンヘルスを今日まで推進してこられた藏内会長の功績というのは、誠に偉大であるというふうに私は思います。

そのような中で、このアジア獣医師会連合の福岡オフィスを誘致され、その他にも福岡県が一番ワンヘルスの取組では先進的な県でありますけれども、それは藏内会長の地元であるということもありますし、それから横倉義武、当時の日本医師会会長の地元でもありますし、それから自由民主党の獣医師問題議員連盟の会長の麻生太郎会長の地元でもあって、おそらく3人が連携して引っ張ってきたんじゃないかなと私は思うんです。

そういう意味で、特に人獣共通感染症はアジアが発生源であることが多いというふうに聞いておりますので、アジア獣医師会連合の会長に藏内会長がなられたということはきわめて意義深いことだと思います。全てのこれまでの経験やさまざまな能力を結集して、アジアからの人獣共通感染症の発生を食い止めていただく役割を果たしていただきたいと思います。

藏内会長のFAVAへの会長ご就任を心からお祝い申し上げますとともに、藏内会長の今後のアジア全域を司るその役割に大きな期待を寄せて乾杯をいたしたいと思います。

ご唱和願います。乾杯。

乾杯の後、藏内会長から謝辞が述べられた(写真15)。

藏内勇夫 日本獣医師会会長、FAVA会長謝辞

今日は、自由民主党獣医師問題議員連盟の麻生太郎会長、(公社)中央畜産会会長の森山 裕先生はじめ、発起人を務めていただいた先生方、また、森 英介先生には



写真 15 藏内勇夫日本獣医師会会長、FAVA 会長

乾杯の音頭を取っていただきました。ご来賓の西村康稔経済産業大臣、古屋範子公明党獣医師・動物看護師議員連盟会長、身にあまるお言葉をいただきまして誠にありがとうございました。

私がこのワンヘルスに取り組むきっかけは、今日、講演をいただきました私の大学の恩師でございます酒井先生が、「大学院に行って視野が広くなり、そこで獣医学そのものではなくてワンヘルスというものを身につけたんではないか。」とおっしゃっていましたが、まさしくそのとおりでございます。

大学を出て、お祝いをしていただきました。麻生太郎先生、古賀 誠先生、今ではあり得ないんじゃないかなと思うぐらいに、お二人にお祝いしていただきました。お二人からはめったに私を褒めていただかないのですが、この大学院に行って博士課程を修めて学位を取得したということだけは素晴らしいとっていただきました。本当にありがたいことだと思っております。このたびアジア獣医師会連合の会長になりました。アジアがこの感染症のホットスポットでありますので、会長としてしっかりこのワンヘルスを普及していきたいと思っております。

前奈良大学、今は國學院大學におられる上野 誠先生、万葉集の大家であります。上野先生とは、福岡出身でありまして長い付き合いをさせていただいていますが、上野先生から、「藏内会長、日本のワンヘルスの原点は奈良の東大寺だよ。」といわれて東大寺に行って調べましたら、まさしく日本の当時の人口の3分の1の人たちがあの東大寺に集まって、疫病を治そうとした。そういう人のつながりだったということをお聞かせいただきました。上野先生、ありがとうございました。

こういったことを踏まえながら、アジア獣医師会連合の会長をしっかりと務めてまいりますので、これまで以上に皆さん方のご支援を賜りますように心からお願いを申し上げます。お礼の挨拶に代えさせていただきます。



写真 16 閉会挨拶をする武見敬三参議院議員

ありがとうございました。

その後、歓談に移り、出席者は会話に興じていた。

最後に武見敬三参議院議員から挨拶が行われ、和やかな雰囲気の中で祝賀会は閉会された（写真 16）。

武見敬三 参議院議員挨拶

藏内先生、今日はお本当におめでとうございます。

皆さんから、このアジアの取りまとめをされる FAVA 会長という大事な職責だけではなくて、将来はぜひ世界の獣医師会の会長にもなっていて、そしてこの人類社会をいわゆる動物由来の感染症からしっかりと守るという大きな仕事をワンヘルスという観点でやっていただかなければなりません。ぜひその大きな役割を、藏内先生にぜひ担っていただければと思います。

そして、改めて言うまでもなく、この人類社会は大変大きな転換期に入っております。さらにはロシアによるウクライナ侵略という地政学的大変化もあって、この日本を取り巻く環境は大きく変わろうとしております。

そういうときに、獣医師会の皆さん方が、大変ありがたいことに自由民主党に対するご支援をしっかりとさせていただいて、この国が誤ることなく安定した形で将来に向けて発展できるように導いていただいていることに心から感謝を申し上げます。

その中心が何といても藏内先生でありますから、その藏内先生の役割は獣医師会を通じてワンヘルスという大きな役割を担っていただくだけではなくて、日本の将来もまた大きく担っていただいているものと思います。

今日は、その藏内先生のアジア獣医師連合会長の就任を祝う会、多くの皆様方にご集っていただきました。改めて、これからさらなる藏内先生のご発展を、そして、今日ご参集の皆様方のご発展をお祈りして、私の挨拶とさせていただきます。